



筑波大学
University of Tsukuba

情報学群

知識情報・図書館学類

College of Knowledge and Library Sciences
School of Informatics



2025



つなぐ—知識、情報、人。





予測困難な時代、 知識の力で切り拓け

情報技術が発展し、我々は様々な知識や情報を容易に入手できるようになりました。一方で、社会は多様化・複雑化し、将来を見通すのはますます困難になっています。この社会状況において、理系だけ、あるいは文系だけの知識で問題解決を図るのはもはや困難であり、文理の枠を超えた知識の横断的活用が必要不可欠です。

このような時代を見据えて、知識情報・図書館学類では、かねてから文理融合型の教育研究を推進して参りました。本学類では、知識、情報、人をつないで新たな知を創出し、広い視野をもって問題を解決できる人材を養成します。意欲ある皆様のご参画を心から歓迎いたします。



知識情報・図書館学類長
鈴木 伸崇
Nobutaka Suzuki

トピックと数字でみる 知識情報・図書館学類

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

筑波大学では幅広いスキルを獲得するための科目群を修得することで得られる「汎用智」と高度な専門知識を獲得することで得られる「専門智」をバランスよく学ぶことで、これらの知識が一体となった「総合智」を修得することを教育の要としています。本学類の専門基礎科目と専門科目は、「専門智」を構成する科目群です。また本学類の学びは理論から実践におよぶ多様な要素から構成されていることから、筑波大学の特徴である総合智教育と親和性の高いカリキュラムとなっています。



数字でみる筑波大学

2023 年度在学者数

9,635 名

総合大学ならではの日本屈指の規模

学生の出身地

47 都道府県

学生は全国から

留学生の受け入れ

100 を超える
国・地域

さまざまな国と地域からの留学生

図書館数

5 館 274 万冊

図書館情報学に関する図書館も

蔵書数

海外オフィス

11 国・地域 12 拠点

「国際性」は筑波大学の柱の一つ

数字でみる知識情報・図書館学類

教員：学生

1 : 3

教員1人当たりの卒業論文指導学生数は平均3人と
細やかな少人数教育

学生男女比

4 : 3

情報学分野では珍しい比率

国際インターンシップ

5 国・地域

たくさんの学生が異文化を経験

総合選抜での受入定員

40 名

学内1位の関口の広さ

駅から徒歩

10 分

首都圏から通学1時間以内

創設

1921 年

歴史は文部省図書館員教習所から

知識情報・図書館学類の学び

特色

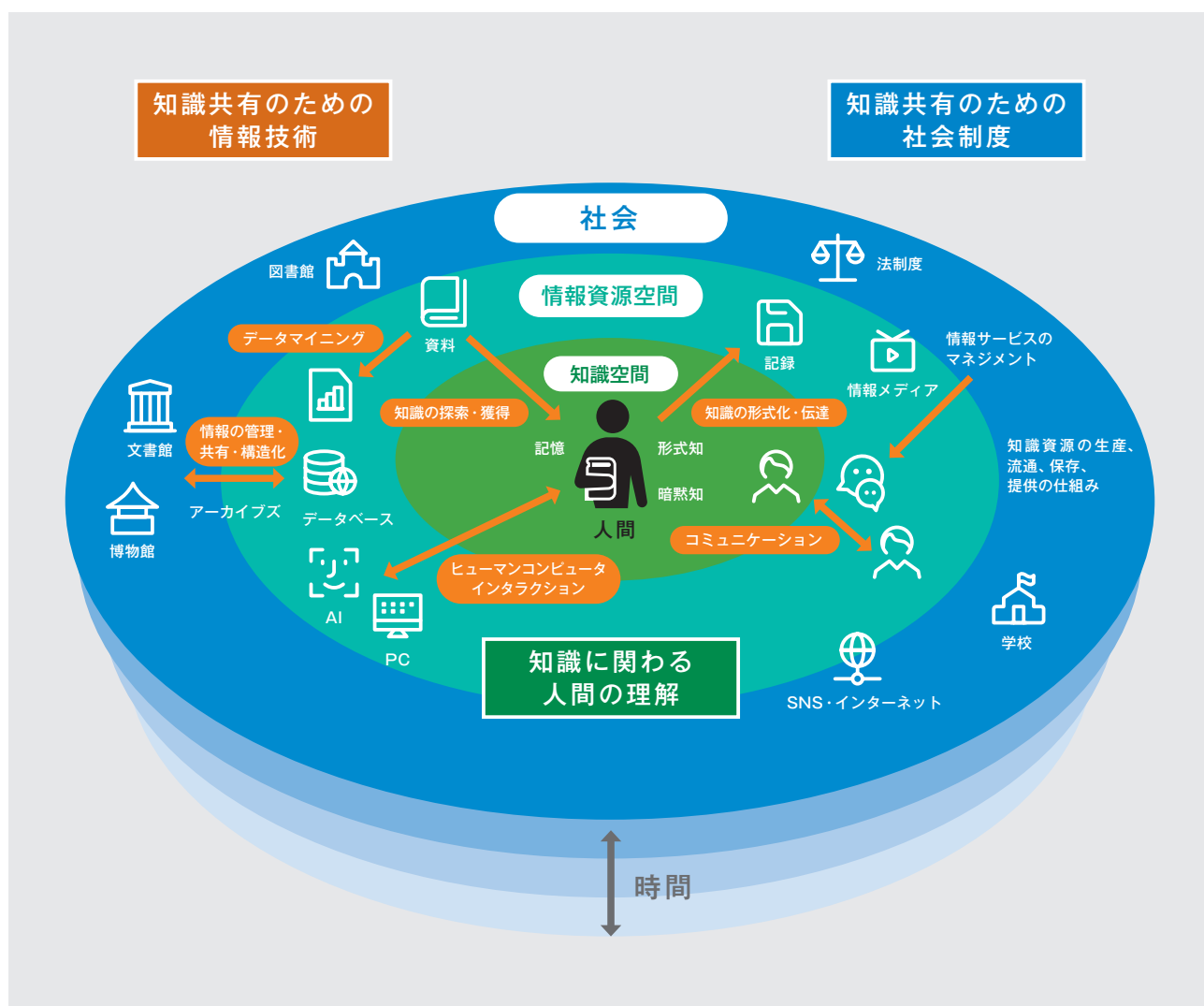
学び

在学生の声

進路

入試情報

知識情報・図書館学類では、高度情報社会における知識や情報を有効活用するための多種多様な仕組みを扱います。知識や情報を有効活用するには、その性質を的確にとらえ、それらを扱うシステムを設計・構築する必要があります。また、システムを創るには、制度や文化、マネジメント方法を考えなければなりません。本学類では、知識科学、知識情報システム、情報資源経営の三つの主専攻が協力し、知識や情報と社会をつなげる人材を育成します。



読書レビューアプリ・BOOK MARRYの導入

知識情報・図書館学類では、学類の特徴を活かして、読書を介したコミュニケーションの活性化、日本語および英語の読解力向上、豊かな文章能力の涵養に取り組んでいます。

この取り組みは、知識情報・図書館学類に所属する全ての学生、教員が参加する読書レビューアプリ・BOOK MARRYにて行われます。BOOK MARRYの導入にあたっては、テスト導入を行い、座談会等を通じてアプリの効果やユーザビリティを検証し、開発元へフィードバックするなど、学生と教員、開発元の協働によってブラッシュアップを行いました。読書を通じた取り組みで、さらには学生と教員が切磋琢磨するという、知識情報・図書館学類らしさを体現したユニークな試みです。



主専攻で何を学ぶのか？

■ 知識科学主専攻



人間

知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法、知識の抽出・表現・探索、思考法に関する理論と応用

■ 知識情報システム主専攻



情報技術

知識と情報の共有、データベース、情報検索、デジタルライブラリなどの知識情報技術に関する理論と応用

■ 情報資源経営主専攻

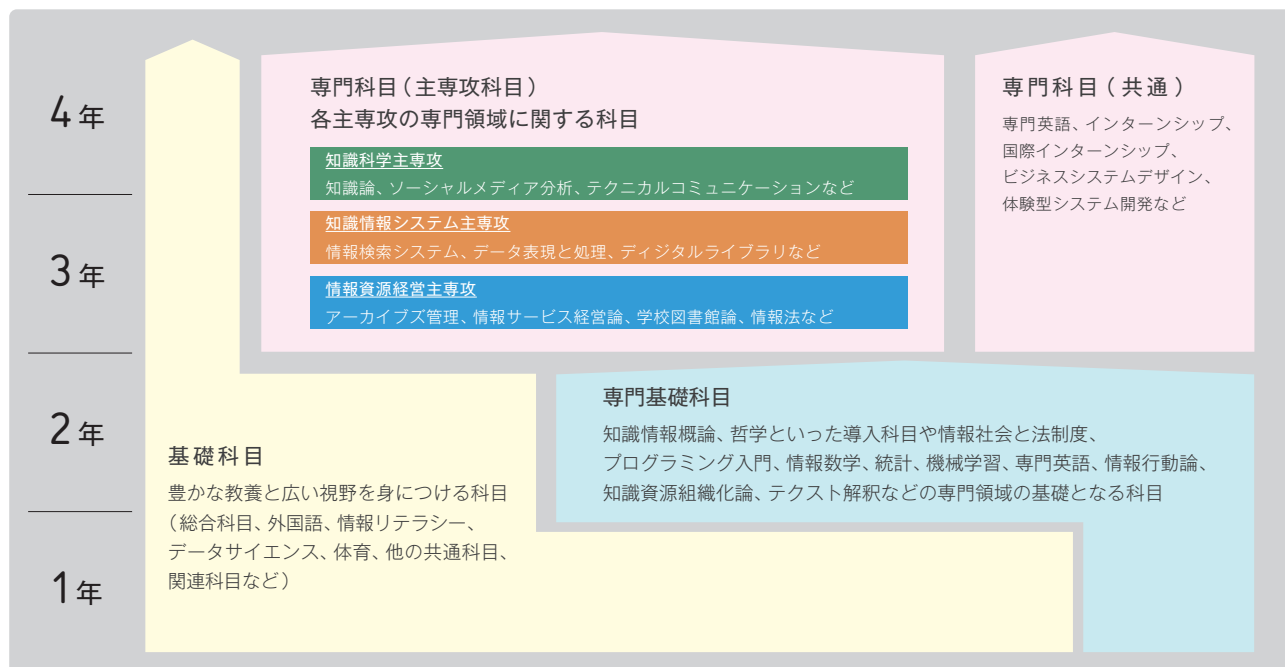


社会

知識共有に関する社会制度、メディアと図書館の文化、知識情報資源の構築とサービスのマネージメントに関する理論と応用

カリキュラム

1年次は豊かな教養と広い視野を身につけ、基礎的な知識や技術を習得し、2年次は1年次の学びを段階的に深めます。3年次では主専攻のいずれかに属して、自主専攻の科目により専門性を高めると共に、他主専攻の科目により幅広い学びを継続します。3年次秋学期には研究室に所属し、4年次に指導教員のもと卒業論文を執筆します。



取得できる資格

知識情報・図書館学類では、司書、司書教諭、教育職員免許の資格が取得できます。司書資格に必要な科目は学類の科目を学ぶ過程で無理なく修得できます。教育職員免許と併せて、指定の科目を修得することで、司書教諭を取得することができます。そのほか、所定の科目を修得することで、テクニカルコミュニケーション専門課程の修了認定が受けられます。

▶ 取得できる資格の一例

- 司書
- 司書教諭
- 中学校教諭一種免許状（社会・数学）
- 高等学校教諭一種免許状（公民・数学・情報）
- テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定（定められた科目を履修し JTCA に申請）

教員紹介

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

知識科学主専攻



于海濤

- 機械学習
- 情報検索
- 知識グラフ・情報知能



後藤 嘉宏

- メディア社会学
- 社会思想史
- マス・コミュニケーション学



上保 秀夫

- 人間情報インタラクション
- ユーザ研究実験法
- 情報検索システム



辻 慶太

- シソーラスの自動構築
- レファレンスサービス
- 図書推薦システム



寺地 美奈子

- メディア社会学
- メディア技術史
- 映像文化論



照山 絢子

- 文化人類学
- 医療人類学
- コミュニケーション学



歳森 敦(兼任教員)

- 選択行動モデル
- 嗜好意識の解明
- 地域施設計画



真榮城 哲也

- 生命現象の解明
- さまざまなモノの関係性
- 専門知識の利用



松林 麻実子

- 情報行動
- メディア分析
- コミュニケーション



松原 正樹

- 身体知/暗黙知
- 認知科学
- 感性情報学
- 表現芸術療法



叶 少瑜

- メディア
- ソーシャルサポート
- 精神的健康
- 対人関係



横山 幹子

- 知識の確実性
- 知識の共有
- 言語と思考



芳鐘 冬樹

- 研究者の生産性
- 研究協力ネットワーク
- 計量書誌学

知識情報システム主専攻



伊藤 寛祥

- 機械学習
- ソーシャルネットワーク分析
- ヒューマンコンピュータインタラクション



宇陀 則彦

- 知識共有現象の解明
- 情報資源の多層化マネジメント
- スマートライブラリ



大澤 文人

- 教育におけるマルチメディアの活用
- 教育におけるコンピュータの活用



加藤 誠

- 情報検索
- Webマイニング
- オープンデータ



金 宣経

- ヒューマンコンピュータインタラクション
- 学習支援システム
- 認知科学



阪口 哲男

- Linked Dataに関わる開発支援
- クラウドソーシング基盤技術と応用
- 情報共有・伝達の技術基盤開発



鈴木 伸崇

- データベース
- データ工学
- アルゴリズム



関 洋平

- 情報アクセス
- 自然言語処理
- コミュニケーション支援



高久 雅生

- 情報組織化
- 電子図書館
- 情報行動
- 情報検索



時井 真紀

- 情報表現
- 計算物理
- 計算機シミュレーション



松村 敦

- 読み聞かせと絵本推薦
- 情報探索・情報検索・情報推薦
- Web情報システム



山本 修平

- 行動モデリング
- マルチモーダルデータ分析
- 機械学習



落合 陽一(協力教員)

- HCI
- VR
- CG



森嶋 厚行(協力教員)

- データ工学/ビッグデータ
- 集合知/クラウドソーシング
- ソフトウェア工学



森継 修一(協力教員)

- 数式処理のアルゴリズム
- 計算幾何学
- 和算研究への応用

知識情報・図書館学類の専門教育の内容は、知識科学、知識情報システム、情報資源経営の三つの主専攻に集約されています。知識科学主専攻は「人間」、知識情報システム主専攻は「情報技術」、情報資源経営主専攻は「社会」と、主専攻ごとに設定したキーワードに基づき幅広い視野を養います。専門領域の内容に即した、人間、情報技術、社会の結合と相互の役割を理解するための科目を展開し、知識情報のスペシャリストを育成します。

情報資源経営主専攻



池内 淳

- 公共図書館政策
- 図書館評価



大庭 一郎

- 情報サービス
(レファレンスサービス)
- 公共図書館
- 図書館職員



小野 永貴

- 学校図書館
- 学習情報資源
- 情報教育



小泉 公乃

- 図書館経営
- パブリックガバナンス
- 公共圏



白井 哲哉

- アーカイブズ学
- 図書館地域資料
- 災害アーカイブ



鈴木 佳苗

- 読書・学習環境
(学校図書館などの
整備と活用)
- メディア利用の影響
- メディア教育



高良 幸哉

- 情報法
- 情報保護法制
- 情報刑法



武田 将季

- 超高齢社会サービス
- ユニバーサルサービス
- 情報リテラシー



呑海 沙織(兼任教員)

- 超高齢社会における
図書館と認知症支援
- 知識情報基盤
- 図書館文化史



西川 開

- 知識commons
- 学術情報流通
- 科学計量学



原 淳之

- ヨーロッパの図書館
- 図書館文化史
- 図書館の国際比較



BARYSHEV
EDUARD

- アーカイブズ学
- 国際関係史
- 比較社会学



村井 麻衣子

- 知的財産法
- 著作権法
- 著作権の制限規定



村田 光司

- アーカイブズ学
- 記憶情報の伝達と管理
- 西洋前近代史



吉田 右子

- 公共図書館論
- 公共図書館サービス
- 公共図書館史

卒業研究について

知識情報・図書館学類では、3年次の秋学期に研究室配属を行います。研究室に配属された後、指導教員やゼミ生とのディスカッション、文献調査などを通じて研究テーマを決定し、約1年間に渡ってそのテーマに取り組みます。まとまった大きさの思索の展開や調査分析、研究開発などを通じて、問題の構想力、解決力と創造性を養うことができます。以下は卒業研究の題目の一例です：

知識科学主専攻

- 生きづらい人のためのシェアハウスに関する研究
- 化粧水クチュミにおける内外的要因が読み手の評価に与える影響
- 高齢者主体のQOL表出発言を引き出す問いかけ手法の比較
- アメリカンフットボール研究動向の時系列変化ーテキストマイニングを用いてー

知識情報システム主専攻

- Efficient Human + AI Crowd Task Assignment with AI Worker Filters
- 他者比較を通じて客観的な自己分析へと導くランニング支援システムの構築
- ドメイン特徴を利用したランキング学習モデルのドメイン適応
- 意味的類似性と単語親密度に基づく意外性と納得感を考慮したなぞかけの生成

情報資源経営主専攻

- 毎日新聞社の「読書世論調査」と「学校読書調査」
- 公共図書館における新型コロナワクチンに関する書籍の所蔵調査
- 現代日本の公共図書館における平面構成の特徴と課題ー単館と複合館の比較分析ー
- 資料の繋がりを反映した文学館デジタルアーカイブの構築

卒業研究の題目と抄録を学類Webサイトで公開していますので、ぜひご覧ください。

学修施設紹介

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

知識情報・図書館学類では、下記に加えて講堂、実習室、無人コンビニ、食堂、ラウンジなど、様々な施設を利用することができます。

FACILITY 01

図書館情報学図書館

図書館学や情報学の資料に加えて、その他の分野の図書、新聞や雑誌、幅広い分野の教養図書、英語教材などを揃えています。学期中は平日8時半から22時まで開館し、パソコンやWi-Fiもあり、個人やグループでの学修を支援しています。



FACILITY 02

ビブリオバトルスタジオ

大型モニターやブックスタンド、撮影用照明や自動追尾カメラを常設しています。ビブリオバトル等のイベント開催や、映像の収録を手軽に行える空間です。

※写真は整備途中のイメージです



FACILITY 03

ウェルビーイングルーム

静謐な空間で身も心もゆるませ一人の時間を過ごせます。内省を通じて「今、ここ」に生じる自身の感情や感覚に注意を向け自己理解を深めます。

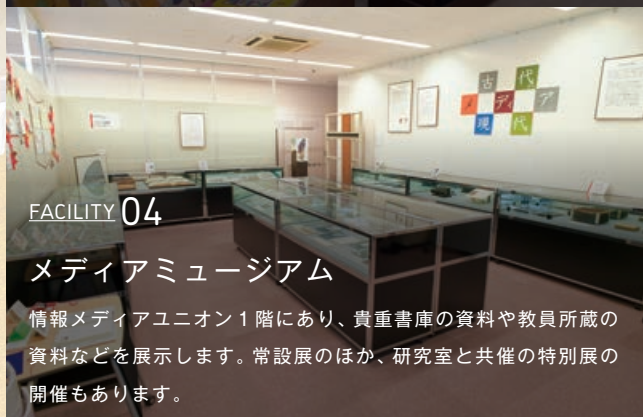
※写真は整備途中のイメージです



FACILITY 04

メディアミュージアム

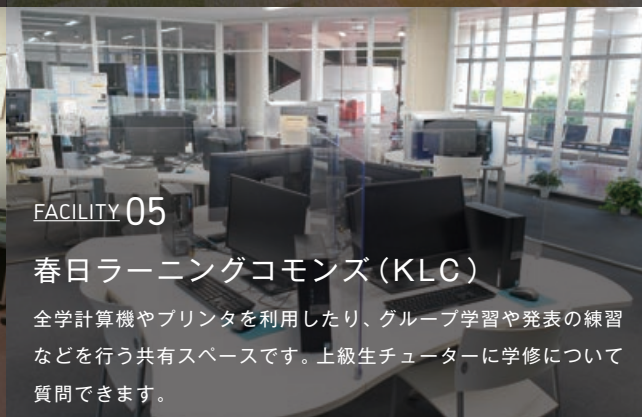
情報メディアユニオン1階にあり、貴重書庫の資料や教員所蔵の資料などを展示します。常設展のほか、研究室と共催の特別展の開催もあります。



FACILITY 05

春日ラーニングcommons(KLC)

全学計算機やプリンタを利用したり、グループ学習や発表の練習などを行う共有スペースです。上級生チューターに学修について質問できます。



海外での学び

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

海外の大学や図書館、情報センターでの学びを実現するために、国際インターンシップや海外研修助成、ピッツバーグ大学との共同教育プログラムを実施しています。

国際インターンシップ

筑波大学は知識情報学の国際的研究教育拠点であり、世界的な交流が行われています。その交流関係を活かして、2009年度よりカナダ、アメリカ、ドイツ、中国、韓国、台湾における様々な図書館や情報センターと連携した「国際インターンシップ」を開講しています。受講者は研修先に10日間ほど滞在し、相手国の図書館や情報センターの業務を見学・実習することで、国際感覚やコミュニケーション能力を高め、国際的な視野を養います。最近の研修先と受講者数は表を参照してください。また、ピッツバーグ大学や釜山大学など、海外の学生が筑波大学を訪問した際には、講義や見学をとおして、日本の図書館や関連機関について学ぶ機会も提供しています。

参加者の声

海外での経験は何にも代えがたい私の宝物になりました。

今井 爽季 Saki Imai

情報資源経営主専攻 3年次
群馬県立前橋女子高等学校出身
【インターンシップ先: ルール大学ボーフム(ドイツ)】



日本だけではない広い視野で捉えることのできるとてもいい機会でした。

小林 果愛 Kanoa Kobayashi

情報資源経営主専攻 3年次
江戸川女子高等学校出身
【インターンシップ先: 釜山大学(韓国)】

海外の図書館に触れることで、図書館に対する考えがより立体的になりました。

品部 絢音 Ayane Shinabe

情報資源経営主専攻 3年次
宮城県立延岡高等学校出身
【インターンシップ先: 釜山大学(韓国)】



海外研修助成

同窓会である図書館情報学橋会の支援を受け、知識情報学に関する国際的な知見を深めるための短期海外研修事業として「図書館情報学海外研修助成」を実施しています。この事業では、学生が自ら作成した海外での研修プランに対して、渡航費や滞在費などが助成されます。

図書館情報学3/4+2 共同教育プログラム

米国ペンシルベニア州のピッツバーグ大学大学院計算情報研究科(School of Computing and Information)との共同プログラムです。学類を3年で早期卒業し、同研究科図書館情報学プログラム(修士)に進学できます。通常卒業4年でも進学可能です。参加条件はGPA 3.25以上、TOEFL iBT 80点(あるいはIELTS 6.5点、Duolingo English Test 110点)以上です。対象者は受験する際、GREが免除されます。ピッツバーグ大学はQS大学ランキングの図書館情報学分野で全米11位の有名校です(2023年3月時点)。



【国際インターンシップ受講者数(2013～2023年度実績)】

アメリカ(ハワイ大学、ミシガン大学、ピッツバーグ大学): 7名

中国(上海図書館): 4名

ドイツ(シュトゥットガルトメディア大学、ルール大学ボーフム): 8名

韓国(釜山大学): 8名

台湾(台湾師範大学): 2名

※新型コロナウイルス感染症のため、2020～2022年度は実施せず

Students' interview

在学生インタビュー

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

郭 炫麟 Guo Xuanlin

1年次 中国・鄭州市 河南省实验中学出身

本学類は知識と技術の融合が進む未来を拓く場であり、柔軟な思考が重要です。自分の興味を追求し、多様な経験を積むことで将来の可能性が広がると考えています。

Q & A

Q・留学先に筑波大学を選んだのはなぜですか。

A・筑波大学には情報技術分野でのリーダーシップを持つ知識情報・図書館学類があり、研究機会や文理融合の先進的な教育体系が魅力だったからです。

大谷 美琴 Mikoto Oya

2年次 茨城高等学校出身

コンピュータだけでなく、情報デザインやコミュニケーションについても学び、情報を活用する楽しさや情報化社会を生き抜くための知識を教えられる情報科の教員を目指そうと考えています。

Q & A

Q・総合学域群からみた本学類の魅力は。

A・文系理系にこだわらずに多様なことを学びたいと総合学域群を選びましたが、その1年間の経験を最も有意義なものにできるのが本学類だと思いました。

小川 真由 Mayu Ogawa

情報資源経営専攻 3年次 横浜市立金沢高等学校出身

図書館員を目指すなかで、図書館の社会における役割やこれから図書館には何ができるのか、といった考えを深めたいと思っています。頼れる仲間やチューターさんが多いので心強いです。

Q & A

Q・本学類に編入したきっかけはなんですか。

A・以前通っていた大学での図書館情報学の学びをより深めたく、「大学において修得すべき図書館に関する科目」が多く開設されているところに惹かれました。

A portrait of Karen Kurotaki, a young woman with short dark hair, wearing a white cardigan over a dark blue top, standing outdoors with green foliage in the background.

黒龍 かれん Karen Kurotaki

知識科学主専攻 3年次 田園調布雙葉高等学校出身

文理融合の学びの中で科目同士の根底での繋がりに気づき、応用できる点で充実した学びができています。周りの学生もいろいろなことに興味を持つ人が多くて刺激的な環境ですね。

Q & A

Q・知識科学主専攻を選んだ理由を教えてください。

A・「知識」と「人」の結びつきを意識しながら認知科学領域の研究をしたいと考えていましたし、技術や哲学といった学問にも興味があったので私にはぴったりでした。

A portrait of Tomoya Nishio, a young man with dark hair, wearing a dark blue long-sleeved shirt, sitting at a desk with a computer monitor in the background.

西尾 朋哉 Tomoya Nishio

知識情報システム主専攻 3年次 茨城県立土浦第一高等学校出身

機械学習や情報検索といった情報技術を学べる点が自分にマッチしています。広い選択肢を持つことが可能な学類なので、まだやりたいことが定まっていない人にも適していると思いますよ。

Q & A

Q・知識情報システム主専攻の特徴は何ですか。

A・情報技術に限らず、文理融合で幅広い分野を「情報」という観点から学ぶことができます。科目選択も自由度が高く、自分の興味に合わせて履修できるのも利点です。

A portrait of Riku Tanaka, a young man with dark hair and glasses, wearing a grey jacket over a beige hoodie, standing in a lecture hall with yellow chairs.

田中 大陸 Riku Tanaka

情報資源経営主専攻 3年次 川崎市立川崎高等学校出身

本学類では、知識と情報を運ぶヒト・モノの全てについて学ぶことで、包括的な視座から探求することができます。皆さんの想像以上に身近で大切な分野であることは間違いありません。

Q & A

Q・情報資源経営主専攻では主に何を学びますか。

A・例えば私の興味分野であるメディアインフォメーションリテラシーでは、デバイス・メディア・情報活用を含め、多種多様な能力を包括する概念を学んでいます。

進路／キャリアサポート

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

知識情報にかかわる広大な世界に触れる中で専門知識と技術を修得し、自らの可能性を広げてください。
新たな可能性の発見は、自分にマッチしたフィールドにつながります。



卒業生の主な進路

進学

20～30%

筑波大学大学院：人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学位プログラム、理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム、グローバル教育院（一貫制博士課程）

他大学大学院：広島大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、立命館大学大学院

就職

[一般企業]

50～60%

- マスコミ・出版：日本放送協会（NHK）、朝日新聞社、テレビ東京、西日本新聞社、紀伊國屋書店、丸善雄松堂、くまざわ書店、バビレス、読売広告社、DNPメディア・アート、DMM.com
- 情報・通信：NTTドコモ、NTTデータ、NTTコミュニケーションズ、KDDI、ヤフー、ソフトバンク、日本電気、富士通、富士通ゼネラル、富士ゼロックス、富士ゼロックスアドバンステクノロジー、日立製作所、京セラコミュニケーションシステム、サイバーエージェント、Twitter UK、ナビタイムジャパン
- コンサル：アクセンチュア、日本総合研究所
- 商社・流通：楽天、丸紅、内田洋行、トーハン、図書館流通センター（TRC）、ファーストリテイリング、カスミ、ローソン、三越伊勢丹ホールディングス
- 運輸・旅行：ANAウイングス、九州旅客鉄道、阪急阪神ホールディングス
- 金融・保険：ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ、りそな銀行、常陽銀行、八十二銀行、大和証券、日本生命、損保ジャパン日本興亜保険サービス
- サービス：リクルートホールディングス、いすゞインテック、東京ドームホテル、河合塾
- 製造・販売：トヨタ自動車、豊田自動織機、資生堂、YKK

就職

[公務員]

15～20%

官庁・自治体：厚生労働省、東京国税局、国立印刷局、国土交通省、青森県、岩手県、宮城県、茨城県、神奈川県、島根県、愛媛県、長崎県、北広島市、喜多方市、宇都宮市、坂東市、牛久市、水戸市、つくば市、柏市、市川市、板橋区、武蔵野市、静岡市、藤枝市、沼津市、浜松市、小松島市、福山市、東京都立図書館、香美市立図書館、宇治市立図書館、筑波大学、岩手大学、新潟大学、東京大学、東京学芸大学、横浜国立大学、信州大学、福井大学、京都大学、秋田県立大学、筑波大学附属高等学校

SUPPORT 01

キャリア相談室

キャリア相談室は「就職」「進学」に関する相談から、「学生生活を有意義に過ごすためには」「学んだことを将来どのように活かしたいか」など、幅広いテーマで学年問わず利用できます。「就職活動でこんな時どうする？」などのちょっとした疑問を解決するために利用する学生も多くいます。卒業生の進路や就職活動の様子など、学類独自の相談室ならではの情報提供やアドバイスも行っています。



キャリアアドバイザーより

進路選択や就職活動に疑問や悩みはつきものです。そして悩みや疑問に大小はありません。キャリア相談室は学生のみなさんにとって、「ほっとひと息つけて、就職・進学から学生生活のことまで、じっくり考えて話せる場」を目指しています。学生のみなさんは第三者との対話を通じて自分の考えを整理できたり、これから取り組むことが明確になるようです。知識情報・図書館学類の卒業生は、学類での学びを活かして幅広い分野で活躍しています。あなたの未来の可能性を一緒に考えてみませんか？

キャリアアドバイザー 神村 孝子 先生



SUPPORT 02

進路情報カフェ

進路を決めた4年生をゲストに迎えた進路情報カフェでは、何を基準に進路を考えたか、卒業研究とのバランスをどうとったのかなど、体験談から進路を考える機会となっています。



SUPPORT 03

キャリア支援

就活や進路について少人数で語り合う「ふんわり相談会」など、学生のニーズや学類の特徴に合わせた支援を行っています。



SUPPORT 04

公務員採用試験対策

学類独自の公務員試験準備講座を2004年に開始し、2年の秋から4年の夏にかけて、隔週で教養模擬試験を実施しています。人文・社会・自然科学の知識の習得を支援し、公務員志望者だけでなく、大学院進学や企業志望者も活用しています。



SUPPORT 05

進学支援

学類生の学びの視野が広がるように、1年次必修科目の「ファーストイヤーセミナー」と「アカデミックスキルズ」、3年次必修科目の主専攻実習等を通じて、大学院進学、海外留学、英語力の育成等の情報を随時提供しています。



卒業生インタビュー

特色

学び

在学生の声

進路

入試情報

他の大学では類を見ないほど
興味をとことん追求できる

鈴木 友里亜 Yuria Suzuki

知識科学主専攻(2016年度卒) 茨城県立水戸第一高等学校出身
東京レコードマネジメント株式会社 福島復興支援グループ勤務

哲学や社会学に関心を抱きつつ司書職にも興味があった私にとって、文系理系にとらわれず学際的に学べるのは願ってもない環境でした。在学中は文理の科目を幅広く履修し、各分野の調査手法も学びました。特にデジタルアーカイブに関する専門的な知識は、福島県の震災復興に携わる現在も大いに役立っています。本来の業務である自治体の文書管理や写真資料の作成、図書館新設に向けた蔵書管理のほか、個人の蒐集品をアーカイブする新サービスの立ち上げにも関わりました。今後も、学類での経験を糧に実際的な分野へと視野を広げ、実務に活かせるよう努めます。また、文書・記録管理の重要性も周知していければと考えています。

文理が融合した教育環境は
「学びたい」を叶えてくれる

稲福 和史 Kazufumi Inafuku

知識情報システム主専攻(2017年度卒) 沖縄県立那覇国際高等学校出身
株式会社リクルート勤務

幼少期から典型的な本の虫だった私がKLIS^{*}を選んだのは必然かも知れません。特に魅力を感じたのは、図書館情報学を扱う唯一の国立大学でありながら哲学や数学、芸術なども分野横断的に学べ、幅広い知識と教養を身につけられる点です。私は、研究に携われる講義「知的探求の世界」をきっかけに博士後期課程への進学を決心し、自らの専門性を深めていきました。2・3年生という早い段階からの積み重ねで得た研究実績は、インターンシップや就職活動においても大きなアピールポイントになったと思います。長い学生生活で日々移り変わる興味を与えてくれるKLISは、私に文理融合の学びと研究活動の楽しさを教えてくれました。

※ KLIS: 知識情報・図書館学類の略称

興味に応じて選択肢を広げられ、
学びを横断的に活かす仕事に

堀川 真理恵 Marie Horikawa

情報資源経営主専攻(2017年度卒) 福井県立藤島高等学校出身
つくば市役所 広報戦略課勤務

高校生のときに国立国会図書館を見学したのですが、利用者視点だけでなく、社会全体として見たときの図書館の持つ役割をあらためて考え直すきっかけになりました。図書館司書になろうと本学類に入りましたが、学生時代は図書館情報学をはじめ、プログラミング、統計学、文化人類学、著作権法……と興味が広がり、結果的に市役所志望に。就職に際しては、公務員試験準備講座や附属図書館の教材にも助けられました。現在はつくば市役所市長公室広報戦略課で、ホームページやSNSなどを通じて市の情報や魅力を発信する仕事をしています。様々な場面で、大学で学んだ知識が仕事に活かされていることを実感しています。



図書館情報学橘会について

図書館情報学橘会は、筑波大学情報学群知識情報・図書館学類及びその前身諸学校(筑波大学図書館情報専門学群、図書館情報大学、図書館短期大学)の同窓会として活動をしています。図書館情報学橘会の現在の会員状況は、1400名(2023年)です。

知識情報・図書館学類の前身諸学校及び沿革について

知識情報・図書館学類の前身となる文部省図書館員教習所は1921年に開設されました。以後、文部省図書館講習所、国立図書館附属図書館職員養成所、文部省図書館職員養成所、図書館短期大学、図書館情報大学と変遷し、さらに筑波大学図書館情報専門学群として統合、その後の改編を経て現在に至っています。

【図書館情報学橘会】 <https://tachibana-kai.com/web/>

これまでの活動

図書館情報学橘会では、定期総会開催時や筑波大学ホームカミングデー開催時に、卒業生や図書館関係者、大学関係者等による講演会などを企画し、卒業生間の交流の場を設けています。東日本大震災の1年後には、「一絆一図書館と震災を語り継ぐ」を開催し、現地での図書館活動の様子を話していただく場を設けました。



2004年3月に橘会から寄贈された橘の記念樹

KLiS卒業生メーリングリストについて

学類では2021年に「創設100周年記念事業」の一環として、教員・卒業生同士の情報交換と親睦のために、筑波大学情報学群知識情報・図書館学類卒業生メーリングリスト「KLiS卒業生ML」をスタートさせました。メーリングリストには知識情報・図書館学類担当教職員及び卒業生、前身諸学校教職員及び卒業生が参加され、交流を深めています。

入試情報

特色

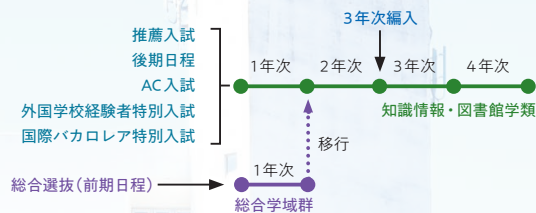
学び

在学生の声

進路

入試情報

知識情報・図書館学類の入試には、推薦入試、後期日程、AC入試のほか、海外・国際的な教育を受けた人向けの外国学校経験者特別入試および国際バカロレア特別入試、高専や短大、大学等からの編入が可能な3年次編入があります。また、総合選抜（前期日程）を受験して総合学域群で1年間学び、その後に知識情報・図書館学類へ移行することも可能です。



入試の種類	募集人員	選抜方法／概要とポイント	スケジュール
推薦入試	40名	小論文と面接・口述試験に基づく選抜 論理的思考力とコミュニケーション能力 小論文では、論理的に考え、それをきちんと表現できるかが重要です。面接（ヒブリオバトル）では、本を推薦する説得力、他の人の発表に対する質問力、的確な回答力がポイントです。	9月上旬：募集要項公表 11月上旬：出願受付 11月下旬：入学試験
個別学力検査等（後期日程）	10名	大学入学共通テストと個別学力検査（小論文）に基づく選抜 広い視野と論理的思考力、表現力 共通テストでは、理科と地歴公民の配点を2つのパターンから選べます。小論文では、広い視野からの発想に加えて論理的思考力や表現力がポイントになります。	10月下旬：募集要項公表 1月中旬：共通テスト 1月下旬：出願受付 3月中旬：入学試験
AC入試	5名	自己推薦書と面接・口述試験に基づく選抜 自分自身の課題でトライ 自分で見つけた課題に自ら取り組み、その成果を自己推薦書として提出します。未知の課題を発見し、解決する能力をどれだけアピールできるかがポイントです。	6月下旬：募集要項公表 9月上旬：出願受付 9月下旬：第1次選考結果発表 10月中旬：入学試験
外国学校経験者特別入試※2	5名	英語資格・検定試験（TOEFL等）のスコア、小論文、面接・口述試験による選抜 知識と情報について学ぶ意欲と日本語能力 小論文では、日本語で論理的に表現できるかがポイントです。面接・口述試験には、知識と情報について学びたいという意欲をもって臨むことが大切です。	4月下旬：募集要項公表 10月上旬：出願受付 11月下旬：入学試験
国際バカロレア特別入試	若干名	提出書類と面接・口述試験による選抜 主体的に学ぶ意欲 主体的に学ぶ意欲のアピールと論理的思考力やコミュニケーション能力がポイントになります。	6月下旬：募集要項公表 10月上旬：出願受付 11月上旬：第1次選考結果発表 11月下旬：入学試験
3年次編入	10名	提出書類と面接・口述試験による選抜 これまでの学習内容と入学後の学習計画 これまでの学習内容と入学後に学びたいことを学習計画書として提出します。入学後にどのような知識や技術を身につけたいのかきちんと説明できるかがポイントです。	4月中旬：募集要項公表 6月上旬：出願受付 7月中旬：入学試験
総合選抜（前期日程）	40名※1	大学入学共通テストと個別学力検査に基づく選抜 基礎学力と得意領域での思考力、判断力、表現力 文系、理系Ⅰ、理系Ⅱ、理系Ⅲのいずれかの区分で受験し、1年次は総合学域群に所属、その後に学類・専門学群に移行します。知識情報・図書館学類では、筑波大学で最大の40名を受け入れています。	10月下旬：募集要項公表 1月中旬：共通テスト 1月下旬：出願受付 2月下旬：入学試験

※1 知識情報・図書館学類の2年次受入定員

※2 これまでの私費外国人留学生入試が外国学校経験者特別入試に拡充されました。日程が変わっている点にご注意ください。それに伴い出願時の日本留学試験の成績は提出不要になりました。

大学説明会／オープンキャンパス情報

知識情報・図書館学類では、右記の説明会／オープンキャンパスを行います。入試のほか、カリキュラムや学生生活など、知識情報・図書館学類のことを詳しく知るチャンスですので、お気軽にご参加ください。詳しくは学類Webサイトに掲載します。

4月	3年次編入説明会
6～8月	推薦入試オンライン説明会（2回開催） 外国学校経験者特別入試オンライン説明会（2回開催）
7～8月	筑波大学オープンキャンパス
3月	春の進学説明会

入試に関する詳細は、必ず「入学者選抜要項」および「学生募集要項」を参照してください。

問合せ先：筑波大学教育推進部入試課 TEL：029-853-6007

推薦入試（ビブリオバトル）

推薦入試の面接はビブリオバトル方式です。ビブリオバトルとは、「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーとして全国に広がっている本の紹介コミュニケーションゲームのことです。本を推薦する説得力や表現力に加えて、質問力、質問に対する回答力などの能力を多面的に評価します。

一般的な面接では、どんな話題で議論するか事前に知らされないことが多く、話題によっては実力を発揮できないこともあります。一方、ビブリオバトル方式では、自分の選んだ本で試験に臨み、その本についての紹介やディスカッションができることが一般的な面接との大きな違いです。

出願資格と推薦要件は以下の通りです。1校で推薦し得る人数の制限を撤廃するなど、より多くの方に受験の機会が得られるようにしました。

出願資格

既卒者も出願可能です。出身学校長の推薦が必要です。

推薦要件

下記のいずれかに該当する者とし、1校で推薦し得る人数は制限しません。

- (1) 調査書の学習成績全体の平均評定値が4.0以上の者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
- (2) 知識や情報に対して明確な問題意識を持ち、それらに関する自主研究や部活動、社会活動において優れた実績を有する者（実績を証明する客観的資料があれば添付のこと。）
- (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

Q&A

Q: 使用する本の種類や制限を知りたい。

A: 公序良俗に反する本や紹介でないかぎり、どのような本でもかまいません。文学作品が比較的多いようですが、ライトノベルやハウツー本が使われたこともあります。電子書籍も可です。

Q: どのような点を評価しますか。

A: 本を紹介する時の説得力や表現力、ディスカッションにおける質問力や質問に対する回答力などを多面的に評価します。

Q: ビブリオバトルの実演を見たいのですが。

A: 7～8月のオープンキャンパスで推薦入試経験者による模擬ビブリオバトル等を行う予定です。ぜひご覧ください。

Q: 推薦入試の説明会はありますか。

A: 受験をお考えの方や迷っておられる方は、7～8月のオープンキャンパスにぜひご参加ください。模擬ビブリオバトルのほか、個別相談会で個別に質問・相談が可能です。また、進路指導ご担当の先生に向けて、オンライン説明会を6～8月にかけて2回開催予定です。

STEP 00: 試験当日までの準備

自分が面白いと思った本を選び、他の参加者にその本に対する興味を持たせるよう5分間の紹介を考え、発表を準備してください。



STEP 01: 入室まで

面接のグループ(5人前後)と面接順序は試験当日に掲示します。試験時間になったら、グループ毎に試験室に入室します。



STEP 02: 本の紹介とディスカッション

全員でAとBを繰り返します。司会は面接員が行います。

A) 本を5分間で紹介します。紹介する本以外の資料は提示できません。

B) 受験生同士で2～3分ディスカッション(質疑応答)をします。



STEP 03: 投票～試験終了

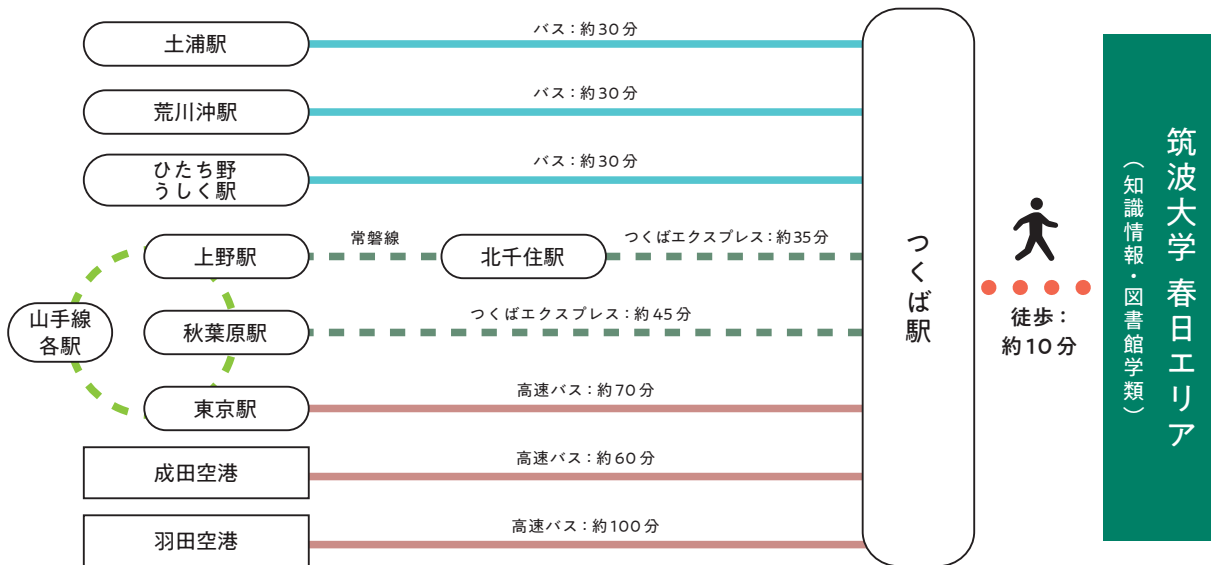
「どの本が一番読みたくなったか?」という投票を行い、チャンプ本を決めます。試験室から退室し試験終了となります。

※チャンプ本に選ばれたことと面接の評価は無関係です。



アクセス

Access



周辺マップ

Map



知識情報・図書館学類

College of Knowledge and Library Sciences

【お問い合わせ】 筑波大学 図書館情報エリア支援室
〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2
TEL. 029-859-1110 FAX. 029-859-1162

<https://klis.tsukuba.ac.jp/>
klis-info@inf.tsukuba.ac.jp



2024年3月発行